

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 29 年度第 1 回)

議 事 録

2017 年 8 月 23 日 (火) 開催

時 間	15:00～17:00	場 所	地盤工学会会議室		
片 岡 委 員 長	○	亀村オブザーバー	×	山 口 (恵) 委 員	×
西岡オブザーバー	×	熊 野 委 員	○	渡 邊 委 員	×
清 木 委 員	○	隅 倉 委 員	○	高 原 委 員	×
田 中 委 員	○	山 口 (智) 委 員	×		
鳥巢オブザーバー	×	藤 澤 委 員	×	平 永 委 員	×
藤田オブザーバー	×	北 田 委 員	○	藤 原 委 員	○

○：出席 (◎：WEB) ×：欠席 △：未定

議事録担当者の選出

熊野委員 (28-4) → 北田委員 (29-1) → 山口(智)委員 (29-2) → 平永委員 (29-3)

前回議事録の確認

【別紙 - 1】 pp.1～ 3

議事録の確認がなされた。

【議 題】

【報告事項】

1. 会員支部部会の動き (片岡委員, 北田委員)

会員・支部部会からの資料・議事録

【別紙 - 2】 pp.4～6

- ・廣岡部長による新体制であり, 田中前委員長・北田委員(理事)が部会に参加する.
- ・ダイバーシティ委員からの意見は片岡新委員長・北田委員(理事)にまとめてもらい, 会員支部部会→理事会にあげるものとする.
- ・震災における会員減免制度については, 被災証明の提示が必要になる (確認).
- ・本部支部連絡会が全国大会の初日に実施され, その場でダイバーシティにおいて勘案したメンター制度について報告を行った.

2. 他学会の動き 土木学会など (平永委員:代理 片岡委員長)

- ・前委員会の開催時から現在に至るまで, 動きはないと報告があった.

3. 2017 年度 全国大会 特別セッション, サロン・土・カフェ W 報告 【別紙-3, 4】 pp.7～15

7 月 12 日の PM のセッションにて, 無事終了した. 特別セッションには, 会場に立ち見が出るほどの人数であり, 盛況であった. サロン・土・カフェ W の参加人数は 36 名と全体に定着傾向にあると考えられる. ただ, アンケートの回答数が少なかった. 全体に女性のみでなく, 男性の参加者も多かった. 年齢層も広く参加されていた. アンケートの結果では, 次年度拝聴したい内容は, 第 1 位 男女平等参画, 第 2 位 育児休暇・介護の問題, 第 3 位 若手の学会参加促進であった.

4. 委員会 HP の更新 (熊野委員)

- ・学会全体の HP の変更が行われ、下記の意見を清木委員より広報委員会に挙げて貰うことになった。
- ・本委員会ではイベントを複数実施することから、学会 TOP ページから委員会ページまで分かり易くしてほしい。
- ・前回までの本委員会ページは 2 階層であったが、現在 1 階層である。変更可能かどうかを清木委員より広報委員会のほうに確認することとなった。
また、次回委員会までに熊野がコンテンツの見直しを行う。

5. 夏の学校について (詳細) (山口恵美委員, 清木委員)

【別紙 - 5】 pp.16~17

- ・8月5日~7日(3日間)開催され、本委員会は6日(日曜日)参加した。今回はポスター展示ではなく、ミニ実験で、第1次希望ではなかったが6人の学生が参加してくれた。初めは地盤工学って何?とよくわからない感じであったが、話や実験をしてもらうとそれなりに楽しんでくれたと思われる。
- ・ミニ実験は少人数ではあるが、内容は濃いと思われる。しかし、より多くの学生に知ってもらうためにはポスター展示は有効である。次年度はポスターも実施したい。
- ・別に行われる企画を模索してもよいかもしれない。例えば、ひらめきときめきサイエンスなどが挙げられ、小学生、中学生なら泥団子などが題材として考えられる。

【審議事項】

1. 座談会について (熊野委員)

【別紙 - 8】 pp.22~31

- ・10月11日15時から開催する内容について検討を行った。
- ・テーマは「外国で働く」。現在日本で働く外国人およびその上司、部下などの体験や、今後外国で働きたい人などを集める。
- ・宗教上の問題なども話題になると思うので、モスリム系の人なども呼び出す。
- ・15人程度の外国人をお願いする。
- ・事前のアンケートはサポーターのみではなく、一般会員にも流せないか、検討してみる。
- ・今後年に1回、一般会員あてにアンケートを出すのは可能か?

3. 次年度全国大会 特別セッション, サロン・土・カフェ W について (片岡委員長)

【別紙 - 7】 pp.19~21

- ・次年度も同様に初日のお昼から開始するようにアンケートに答える。
- ・北田委員(理事)が例年だと別の DS と時間が重なるので、重ならないように調整する。

4. その他 (北田委員)

表彰委員会において、女性枠の表彰を新たに新設するという案件が、次年度から持ち越されている。今後、事案を検討するために相談するなり、ワーキングを立ち上げることになると思われる。

2017年度第2回 2017年11月中旬に、本日参加者が少ないので、メールにて日程調整を行う。

以 上 (文責: 北田奈緒子)